

対象年度	令和 3年度	総合計画実施計画策定及び行政評価シート								
事務事業名	コミュニティ活動推進事業						予算事業名	コミュニティ活動推進事業費		
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令		
			02	01	13	2001	経常経費			
総合計画体系	5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営) 5-1市民・企業・行政がともに支えあう体制づくり(市民参加・広 ③コミュニティの活性化 1自治会活動の充実						事業の区分	主要事業		
							担当課係等	まちづくり協働課		
								協働推進係		
事業期間	継続 (昭和53年度～ 年度)									
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
対象地区(自治会)などのコミュニティ活動を活性化させる。						一般財団法人自治総合センターが、宝くじの普及広報事業として受け入れる受託事業の収入を財源として、コミュニティ活動の助成と宝くじの社会貢献広報活動として実施している。				
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】				
コミュニティ活動に必要な集会施設や備品等の整備に対して助成を行う。 令和2年度は申請自治会なし						市内の地域コミュニティ組織(自治会、町内会)				
						【事業をとりまく環境の変化】				
						自治会集会施設や備品の経年劣化により、更新を検討している自治会が増えてきている。また、コミュニティ活動を充実させるために必要な祭り用の山車や神輿なども老朽化しており、それらの整備にコミュニティ助成事業を利用したいという自治会からの要望も増えてきている。				
【令和 3年度 事業内容】			【令和 4年度 事業内容】			【令和 5年度 事業内容】				
コミュニティ活動助成 子ども神輿の製作(戸野町自治会)			自治会から申請があった場合計上			自治会から申請があった場合計上				
■事業費										
財 源 内 訳	R01年度		R02年度							
	国	庫	支	出	金	0	0			
	県	支	出	金	0	0				
	地	方	債		0	0				
	そ	の	他		2,500	0				
	一	般	財	源	0	0				
歳入計(千円)		2,500		0						
歳 出 内 訳	節	(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)						
	18	負担金補助及び交付金	2,500	0						
歳出計(千円)(A)		2,500		0						
伸び率(%)				皆減						
備 考	総合計画135ページ									

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位	R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	申請件数	件	目標 1.00	0.00	1.00
			実績 1.00	0.00	0.00
			目標 0.00	0.00	0.00
			実績 0.00	0.00	0.00
成果指標	延べ助成件数	件	目標 25.00	25.00	27.00
			実績 25.00	0.00	0.00
			目標 0.00	0.00	0.00
			実績 0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	自治会の集会施設やコミュニティ活動に必要な備品等を整備する際、自治会の予算規模では対応が難しく、これらの整備に対する費用効果は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	一般財団法人自治総合センターから県を通して、市が補助を行っている。
	手段の妥当性	A 妥当である	補助主体である一般財団法人自治総合センターの要綱に基づき行われる。
効率性	コストの効率性 ・人員効率	A 改善の余地はない	補助主体である一般財団法人自治総合センターの要綱に基づき行われる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	自治体等を対象にしている事業である。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	ほぼ毎年補助金を交付している。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	ほぼ毎年補助金を交付している。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

本事業は、ほぼ毎年、申請されている状況であり、各自治体において制度の浸透が進んできたと思われる。しかし、相談内容には申請要件を満たさないものもあるため、制度内容について、更に理解を深めることが課題である。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

本事業の要望や申請がスムーズに行えるように、提出する書類等を詳細に指導する。

自治会には制度の理解を高めてもらうため、継続して自治協力員の総会等にチラシを配布する。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

- 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

方向性の具体的な内容

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

- 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり。